

# 令和 5年度 杉並区施策評価シート I

( 00047 )

施策	12	いきいきと住み続けることができる健康づくり
目標	04	「人生100年時代」を自分らしく健やかに生きることができるまち
施策担当課	健康推進課	関係課 保健サービス課 保健予防課 国保年金課

施策目標  
 区民や事業者などが協働・連携し、ICTなどの活用が進み、誰もが健康づくりに参加できる機会が保障されています。また、一人ひとりが健康増進に取組むことが進み、健康寿命が延ばれています。がん対策、糖尿病などの生活習慣病予防、重症化予防が進み、がんによる死亡率及び糖尿病等生活習慣病の予防から介護予防、認知症予防の取組により、高齢になっても自立して生活できています。心の病に関する正しい知識の普及が進むとともに、早期発見、早期対応が行われています。

活動指標	成果指標
指標名(1) 各教室への参加延べ人数 算式・指標説明 保健センター健康増進教室に参加した延べ人数	指標名(1) 65歳健康寿命(男性) 算式・指標説明 65歳の方が要介護認定(要介護2以上)を受けるまでの期間の年齢を平均的に表したもの【社会】
指標名(2) 特定保健指導実利用者数 算式・指標説明	指標名(2) 65歳健康寿命(女性) 算式・指標説明 65歳の方が要介護認定(要介護2以上)を受けるまでの期間の年齢を平均的に表したもの【社会】
指標名(3) がん検診受診者数 算式・指標説明	指標名(3) 特定保健指導対象者割合の減少率 算式・指標説明 特定健診における特定保健指導対象者割合の減少率(平成20年度(2008年度)比)【社会】
指標名(4) 精神保健相談実施回数 算式・指標説明 精神科医による精神保健相談	指標名(4) がんの75歳未満年齢調整死亡率(男性) 算式・指標説明 年齢調整死亡率=人口規模や年齢構成が異なる地域の死亡数を基準人口で補正して算出【社会】
	指標名(5) がんの75歳未満年齢調整死亡率(女性) 算式・指標説明 年齢調整死亡率=人口規模や年齢構成が異なる地域の死亡数を基準人口で補正して算出【社会】
	指標名(6) ゲートキーパー養成者数(累計) 算式・指標説明 悩みや不安に寄り添えるよう、区のゲートキーパー養成講座を受講した区民・学校関係者・職員等の数【行政】

区分	単位	令和 2年度		令和 3年度		令和 4年度		目標値	目標年度	
		実績	計画	実績	計画(目標値)	実績				
活動指標	活動指標(1)	1	人	311	1,400	699	1,000	727		
	活動指標(2)	2	人	310	750	238	600	123		
	活動指標(3)	3	人	112,205	132,800	125,452	159,850	126,066		
	活動指標(4)	4	回	161	160	162	160	160		
成果指標	成果指標(1)	5	歳	83.6	84.0	83.8	83.8	83.7	84.4歳	令和12年度
	成果指標(2)	6	歳	86.7	87.0	86.9	87.0	86.8	88.2歳	令和12年度
	成果指標(3)	7	%	25.5	25.0以上	29.8	25.0以上	25.5	25.0%以上	令和12年度
	成果指標(4)	8		79.6	92.1	73.3	77.1	72.9	67.9	令和12年度
	成果指標(5)	9		52.6	51.4	58.7	52.6	51.7	49.2	令和12年度
	成果指標(6)	10	人	1,836	0	2,009	2,150	2,263	3,350人	令和12年度
施策コスト	事業費	11	千円	1,962,076	2,439,626	2,044,285	2,485,042	2,071,669	特記事項	
	人件費	12	千円	588,894	593,079	587,694	584,460	578,554		
	総事業費(11+12)	13	千円	2,550,970	3,032,705	2,631,979	3,069,502	2,650,223		
	国・都からの補助金等	14	千円	726,090	708,843	761,568	877,918	784,632		
	総事業費伸び率(計画、実績の対前年度比)	15	%			3.2	1.2	0.7		
	人件費比率(12÷13)	16	%	23.1	19.6	22.3	19.0	21.8		

課題・分析	<p>「人生100年時代」を迎え、生涯にわたって健やかに暮らせる健康長寿社会の実現を目指す中で、健康の重要性はますます高まっています。この間、新型コロナウイルス感染症の流行が長期化したことにより、人や物との接触を最小限にするなど区民の生活様式は大きく変容し、人々の身体活動・社会活動が抑制されるとともに、人と人とのつながりの希薄化をもたらしたと考えられます。このことは、運動不足など身体活動の変化やフレイルの悪化のほかストレスの増加など、健康面への影響等が表れており早急に対応する必要があります。また、がん検診・特定健康診査の受診率や特定保健指導の利用率も、コロナ禍における受診控え等により下がっており、コロナ前の水準に戻すよう受診勧奨を推進する必要があります。このほか、区民生活や社会環境の変化等に沿った健康づくりの充実が求められており、病気になる前段階からの予防的な取組やICTを活用した利便性の高い取組などを講じていく必要があります。</p>
施策の成果	<p>若い世代からの健康づくりや高齢者の介護予防などの各種講座等は、対面式のほかICTを活用してオンライン講座や動画配信を行い、区民一人ひとりが主体的に健康づくりに取り組む環境を推進しました。</p> <p>健康づくりリーダーや食育推進ボランティアの育成など区民や関係団体等との協働による健康づくりを進めることで、65歳以上の健康寿命の延伸につなげています。</p> <p>健康な生活を維持するためには自らの健康状態を把握し、がんや生活習慣病の早期発見・早期治療及び生活改善が大切であることから、職場等で受診機会のない方を対象にがん検診を実施するとともに、健診・検診データを活用して、特定保健指導、歯科疾患の重症化予防や糖尿病予防の普及啓発等を行い、「自らの健康は自らが作る」という健康意識の醸成を図りました。</p> <p>感染症の蔓延などによる生活様式の変化により、ストレスを抱える方を早期発見・早期対応していくため、新たに254人のゲートキーパーを養成して自殺予防の取組を進めるとともに、心の健康づくりとして、精神科医等による精神保健相談や講演会を行い、心の病気を未然に防止する取組を推進しました。</p>
<p>改善・見直しの方向 中長期</p> <p>今後の進め方</p>	<p>今後の施策の方向性</p> <p>サービス増</p> <p>国の「二十一世紀における第三次国民健康づくり運動（健康日本21&lt;第三次&gt;）」では、人生100年時代を迎え社会が多様化する中、国民一人ひとりの健康課題に寄り添いつつ、誰一人取り残されることのない、より実効性のある健康づくりの取組を進めていくことが求められています。</p> <p>「人生100年時代を自分らしく健やかに生きることが出来るまち」を目指し、区民、地域の団体、事業者などとの連携や協働による取組を進めるとともに、ICTの活用による講習参加機会の拡充など、誰もが健康づくりに参加できる機会を確保していきます。加えて、誰もが自分らしく健康に外出し、まちをストレスなく歩き運動することができるよう関係機関と連携し、身近な地域で体を動かす環境づくりを推進していきます。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響により、がん検診及び特定健康診査の受診率並びに特定保健指導の利用者数が減少していることから、コロナ前の水準に戻すことに加え、更なる受診率向上につながるよう、受診勧奨の強化を図ります。</p> <p>社会全体のつながりが希薄化する中で、区民の心の健康を保つため心の健康保持に係る啓発活動を推進するとともに、相談支援体制を強化し、特に若年層、女性及び働く人等への支援を強化していきます。</p>

# 令和 5年度 杉並区施策評価シートⅡ（施策を構成する事務事業）

【施策 12】【施策名称 いきいきと住み続けることができる健康づくり】

金額の単位は千円

( 00047 )

整理番号	事務事業名称	実行計画事業	主要事業	令和 4年度 事業費	人件費	総事業費	施策から見た 事業の方向性
1 310	衛生統計調査			1,352	2,364	3,716	現状維持
2 315	区民と進める健康づくりの推進			8,893	59,972	68,865	現状維持
3 316	健康や栄養に関する指導・啓発			136	8,992	9,128	現状維持
4 317	がん検診			700,837	36,654	737,491	推進（拡充）
5 318	区民健康診査			84,618	14,360	98,978	現状維持
6 319	成人歯科健康診査			48,237	9,181	57,418	現状維持
7 320	中高年者眼科検診			62,417	5,416	67,833	現状維持
8 321	生活習慣病予防対策			4,120	11,331	15,451	現状維持
9 322	精神保健・難病対策			15,886	223,895	239,781	現状維持
10 323	受動喫煙等防止対策の推進			1,156	13,539	14,695	推進（拡充）
11 326	がん対策の推進			516	5,090	5,606	現状維持
12 327	健康づくり推進活動			5,530	16,258	21,788	現状維持
13 339	大気汚染被害対策			4,483	12,272	16,755	現状維持
14 343	保健所等施設の維持管理			117,144	12,166	129,310	現状維持
15 345	保健センターの維持管理			56,795	78,008	134,803	現状維持
16 567	国民健康保険保健事業			55,640	14,303	69,943	現状維持
17 568	特定健康診査・特定保健指導事業			438,456	6,094	444,550	現状維持
18 591	一般介護予防事業			70,130	38,568	108,698	推進（拡充）
19 610	後期高齢者健康診査			395,323	10,091	405,414	推進（拡充）
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
31							
32							
33							
34							
35							
合計				2,071,669	578,554	2,650,223	

施策を構成する 事務事業に関する特記事項	
-------------------------	--



課題・分析	<p>区民の医療面における安心感を増していくため、急病診療体制については引き続き小児急病診療を含めた休日等夜間急病診療事業等を実施するとともに、災害時の医療体制については関係医療機関等との連携を強化し実効性の高い医療救護訓練等を実施していく必要があります。また、自宅療養者が増えている患者数は増加傾向にあることから、在宅療養者が安心して訪問診療を受けられるよう在宅医療体制を充実していく必要があります。加えて、医療技術の進歩に伴い医療的ケア児が増加しているため、小児専門医療機関に通う障害児が成人期に達した際に、地域の身近な医療機関にスムーズに移行できるように、在宅訪問診療所と地域の基幹病院が連携して対応できる体制整備が必要です。感染症対策については、新型コロナウイルス感染症の対策を含め、これまでの予防対策及び発生時の対応を振り返り防疫体制の強化を図るとともに、区民への啓発活動を効果的な手法を用いて積極的に実施していく必要があります。</p>
-------	--

施策の成果	<p>初期救急医療体制を確保するため、小児急病診療を含む休日等夜間急病診療事業等を実施するほか、急病医療情報センターの運営とともに、AED設置の周知や救命講習の開催等により、区民の救急医療体制に対する安心感と心急手当の普及・啓発活動など初期救急対応力の向上に繋がりました。災害時に開設する緊急医療救護所が円滑に運営できるよう、医療救護訓練を2回実施するとともに、人工透析患者等に対する必要な支援体制を検討し、災害医療体制の充実に向けた取組を推進しました。</p> <p>区及び関係機関による在宅医療推進連絡協議会を3回、医師及びケア24職員等で構成する在宅医療地域ケア会議を12回開催したほか、医療・介護等の関係者が在宅療養者の情報を効率的に共有できるようにするため、杉並区医師会の多職種連携ICTシステムに対して支援を行うなど、在宅医療と介護の連携強化を図りました。</p> <p>障害者医療及び医療的ケア児の保護者を対象にアンケート調査を実施し、移行期医療や、かかりつけ医等に関する実態と課題を把握し、重度心身障害児の短期入所の確保等の支援体制の構築に向けた検討を進めました。</p> <p>新型コロナウイルス感染症対策として、ワクチン接種の推進や受診・相談センターの拡充、自宅療養者への支援、高齢者施設等への積極的疫学調査の実施等区民の命と健康を守る取組を進めました。</p>
-------	---

<p>改善・見直しの方向 中長期</p>	<p>今後の施策の方向性</p> <p>現状維持</p> <p>今後の進め方</p> <p>初期救急医療体制については、急病医療情報センターの運営及び小児急病診療を含む休日等夜間急病診療事業等を継続していきます。また、より実効性のある災害時医療体制を構築するため、緊急医療救護訓練を強化するとともに、医療救護が必要な災害時要配慮者等の支援体制や、ICTを活用した新たな保健医療活動体制について検討していきます。</p> <p>在宅療養者が安心して医療を受けられるように、在宅医療相談調整窓口の運営を継続するほか、在宅医療推進連絡協議会等の開催や多職種連携ICTシステムへの支援などにより、医療・介護等の関係機関の連携を強化していきます。</p> <p>障害者医療の体制整備にあたり、杉並区医師会向けに移行期医療をテーマとした講演会を実施し、令和6年度以降に杉並区医師会等と具体的な取組について協議を進めていきます。</p> <p>新型コロナウイルス感染症での経験を踏まえ、今後の感染症の発生及びまん延に備える必要があることから、関係機関等との更なる連携や保健所体制の整備等、感染症法に基づく新たな予防計画等を検討するとともに、区民への予防に関する正しい知識の普及啓発を図っていきます。</p>
--------------------------	--



# 令和 5年度 杉並区施策評価シートⅡ（施策を構成する事務事業）

【施策 13】【施策名称 地域医療体制の充実】

金額の単位は千円

( 00048 )

整理番号	事務事業名称	実行計画事業	主要事業	令和 4年度 事業費	人件費	総事業費	施策から見た 事業の方向性
1 219	在宅医療・生活支援センターの維持管理			5,709	2,255	7,964	推進（拡充）
2 311	救命救急体制の充実			28,959	13,805	42,764	現状維持
3 312	急病診療事業の運営			211,060	7,889	218,949	現状維持
4 313	災害時医療体制の充実			11,103	11,300	22,403	推進（拡充）
5 314	歯科保健医療センター事業			65,523	1,366	66,889	現状維持
6 324	各種衛生検査			31,061	43,161	74,222	現状維持
7 325	在宅医療体制の充実			7,129	15,844	22,973	推進（拡充）
8 340	予防接種			8,705,408	334,010	9,039,418	現状維持
9 341	感染症予防・発生時対策			2,175,836	367,868	2,543,704	縮小（廃止）
10 342	新型インフルエンザ等対策			0	5,823	5,823	推進（拡充）
11 344	生活衛生課分室の維持管理			16,430	12,818	29,248	現状維持
12 595	在宅医療・介護連携推進			8,905	20,139	29,044	現状維持
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
31							
32							
33							
34							
35							
合計				11,267,123	836,278	12,103,401	

施策を構成する 事務事業に関する特記事項	
-------------------------	--